

# 環境県民フォーラムだよ！

VOL. 45 2020年3月1日 発行



## 青山高原ウィンドファーム 風力発電所を見学しました！！



11月21日（木）エネルギー分科会及び資源活用分科会のメンバーを中心に、総勢16名で青山高原ウィンドファームの施設見学を実施しました。

施設のある青山高原の主峰「笠取山」一帯は、若狭湾から琵琶湖を経て伊勢湾へ抜ける“風の通り道”となっており、また、ツツジやススキなどが自生し、猛禽類のクマタカやサシバなどが生息している室生赤目青山国定公園内でもあるため、美しい自然環境や地域との共存を図りながら日本最大級の風力発電所として60基の風車が設置されています。

見学時は、施設内にある「風のめぐみ館」で、ジオラマや映像による説明を受け、さらに風車を間近に見ることで、“風によるエネルギー”を電力に変える技術や自然環境への配慮等について学ぶことが出来ました。

風車はブレード角度を変えることで、弱い風でも受け止めて発電できたり、台風などの強風にも対応できるよう工夫されており、さらに雷による異常電流対策など、故障も防ぐ構造となっています。ブレードはガラス繊維強化プラスチック製で、私たちの力でも押すと曲がるほどの柔らかさでした。風車の耐用年数は20年で、撤去時には分別リサイクルされ、新しい風車が再度設置されます。

高原に並ぶ風車群は壮大で、この施設では一般家庭約44,000世帯分の電力を賄い、74,000t<sub>当</sub>のCO<sub>2</sub>削減効果のあるクリーンな発電を続けているということに、非常に感激しました。

今後とも、温暖化対策や再生可能エネルギーとして重要な風力発電と自然環境の共生について、注目していきたいと思えます。



若狭湾から伊勢湾への風の通り道に60基設置



中心部までの  
高さ：6.5m



風のめぐみ館（資料館）とブレード



ブレード（約40m.ガラス繊維強化プラスチック製）



見学時の発電量



# エネルギー分科会 ～“エコな～らライフ宣言”植樹バスツアー～

11月9日（土）晴天の中、大和郡山市立里山の駅野外活動センター「風とんぼ」にて植樹バスツアーを実施し、「エコな～らライフ宣言」(\*)をしていただいた21名の方にご参加いただきました。今年はイロハモミジの苗木を計5本植樹しました。参加者はご家族で協力しながら終始楽しそうに植樹しておられました。植樹の後は、アスレチックや折り染体験などの自然体験をしていただいたり、電気やガスを使わない薪を用いたピザづくりを体験していただきました。自然の中で作ったピザの味は格別で、みなさんおいしそうに食べておられました。今回ツアーに参加されました皆様には、植樹にご協力いただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

(\*)「エコな～らライフ宣言」とは、奈良県環境県民フォーラムが実施するCO<sub>2</sub>排出量削減キャンペーンで、「家庭で取り組める省エネ行動」を宣言し実践していただくものです。宣言された方には、毎年植樹バスツアーにご案内し、植樹によるCO<sub>2</sub>削減にも貢献して頂いています。まだ宣言されていない方にも是非ご賛同頂ければと存じます。（下記URL参照）

(大阪ガス株式会社 真鍋)



イロハモミジの植樹



ピザづくり

URL : <http://www.eco.pref.nara.jp/section/ecocheck.html>

右記QRコードからも  
アクセス可能です！



皆様からの宣言をお待ちしてます！



# エコライフ分科会 ～梅生産工場、梅酢（酸廃液）処理施設見学～

事業場における生産工程から廃液処理工程までの一連の流れを学習し、メンバーの知見を広げることが目的として、和歌山県みなべ町にある梅生産工場、上富田町にある梅酢処理施設を見学しました。

梅生産工場では梅干の生産工程について説明があり、その後パッキング工程を見学しました。梅干生産量は約10ト/日、工場で発生する梅酢（酸廃液）のBOD値※は約15万mg/Lでした。廃液は概ね濃赤色でしたが、調味液等を調整するため季節や製造ロットによって大きく変動するとのことでした。

午後からは、和歌山県内梅干生産工場から発生する梅酢を処理する施設を訪問しました。当施設では処理する梅酢に応じて希釈・中和し、生物処理及び膜ろ過を経ることで、約15万mg/LのBOD値を20mg/L以下まで減少させることが出来ます。また、汚泥は脱水機により脱水され、最終的には肥料等に利用します。処理前の調味液は赤色が非常に強かったですが、処理後河川に放流される排出水は無色透明であり、臭気等も全く気になりませんでした。

環境県民フォーラムには他業種の事業者様が参加されています。今回学んだ内容を各分科会へ水平展開することで、情報を共有し、フォーラム全体のスキル向上に繋がりたいと思います。

※BOD値：水の汚染度合いを表す指標の一つで、高いほど汚れていることを示します。（奈良県環境政策課 村上）



梅扇園にて



太陽浄化センター梅の郷にて



(左) 集合写真 (右) 施設見学風景

## 資源活用分科会 ～環境にやさしい買物キャンペーン～

「環境にやさしい買物キャンペーン」として、資源活用分科会のメンバーを中心に、10月9日（水）奈良市内の商業施設「ならファミリー」にて、レジ袋削減の呼びかけとマイバックを配布しました。これに併せて、2020年7月からレジ袋の有料化の義務付けが決まっていることもあり、マイバック持参の有無のアンケートを実施し、現状の一般消費者の意識調査を行いました。アンケートの結果、約84%の方がマイバックを持参しており、またマイバックを持っていない方の中には、食品を購入するときはマイバックを持参するとの意見もあったので、その際の持参率はさらに上昇することが予想されました。このアンケートを通じて、マイバックの持参が多くの方に浸透していることが確認できましたが、さらなる持参率向上に向けて、啓発活動を継続していきたいと思えます。

また、キャンペーン会場の一角で、「エコな～らライフ宣言」のアンケートも併せて実施し、多くの方に宣言いただきました。

(イオンリテール株式会社イオンスタイル奈良 桐山)



マイバックアンケートの実施



啓発物品配布



アンケート結果

## 自然環境分科会 ～自然環境セミナー等を開催～

### <天理市落ち葉かき>

11月23日（土祝）に天理市役所～天理教本部、中大路で「落ち葉かき」を実施し、大人90名+こども4名の94名に参加いただきました。市役所職員、シャープ、ライオンズクラブ、ならコープ、南都銀行、大和信用金庫をはじめ多くの方々に協力いただきました。今年はイチョウ等の落葉を3トンダンプ1台・軽1台分集めました。その落葉は木の子村をはじめとする畑において肥料として活用いただいております。

※なお主催は 環境市民ネットワーク天理から 天理市環境連絡協議会に移管しています。  
(環境市民ネットワーク天理 中島欣成)



落ち葉かきの様子

### <七草摘みと七草粥づくり>

1月19日(日)に、生駒市高山町の「同志社大学里山キャンパス」において同志社大学学生ら約70名と共に、「春の七草を摘んで七草粥を作って食べよう!」を開催しました。オオタカが上昇気流に乗って舞い上がる穏やかな日差しの中での、自然体験教室となりました。参加された方には、竹で七草粥を入れる器とお箸を作っていただきましたが、今年は竹のスプーンを作る方もおられました。

「なぜ寒い時期に草を摘んで食べるのか?」「七草それぞれの香りが違うね!」「なぜホトケノザという名前が付けられたのか?」等、七草について色々な話をしながら、収穫を終えた田んぼの中で、セリ・ゴギョ

ウ・ホトケノザを摘み、畑の中で、ナズナ・ハコベラ・スズナ・スズシロを摘みました。七草の香りときれいな緑の七草粥を食べたら次はお餅つきです。皆でおいしくいただきました。

見て・考えて・作って・食べて・遊んで・働いて・・・たくさんのことを体験できた一日でした。

(NACS-J自然観察指導員奈良連絡会 有山泰代)



集合写真

## ～菜の花だより～

### さくらい菜の花プロジェクト10周年祭

講師に「やまと薬膳のオオニシ先生」をお招きしてさくらい菜の花プロジェクト10周年イベントを実施しました。

120名程の参加により、イベントも成功裏に終えることができました。ご協力ありがとうございました。

#### メンバーの一言

- ・時のたつのは早いもので10年が過ぎ、走馬灯のように思い出します。尚一層頑張りたい!!
- ・まだまだ頑張りたいところですが、あっという間に年長です。そろそろ引退したいなあ
- ・いろんな人との出会いがあり、楽しい10年間でした。今一層頑張ります!!
- ・ひまわり、桜、菜の花と地域と共に高い志を持って進みたい。
- ・あっという間の10年、菜の花を植え続け花見見物をして人生を楽しんでいます。プロジェクトを絶やさないうち少しでも菜の花が咲く場所が増えることを願っています。



オオニシ燕子氏による講演



ナルクオカリナクラブ

### 葛城フィールド（活動団体：エコ葛城市民ネットワーク）

#### 菜の花の植え付け体験を行いました

葛城市では今年も環境教育として市内すべての小学校で、菜の花の植え付けと菜種の収穫から搾油体験を行いました。その中でも新庄小学校と忍海小学校では秋の遠足の際に、東大寺に菜種油を奉納させていただきました。奉納の儀式では、クラスの代表が大仏殿の台座まで上がり、奉納台に直接菜種油を置かせていただきました。

これらの活動から資源循環型社会に少しでも関心を持ってもらえればと期待しています。



東大寺に菜種油を奉納



東大寺に菜種油を奉納

## 奈良フィールド（活動団体：大和の国・菜の花エコプロジェクト）

2019年度は、世界遺産学習の一環として菜の花プロジェクトを奈良市の小学校、幼稚園の5校で行うようになり10周年です。「地域の自然と歴史を尊び、世界の平和を願う」取り組みが評価され、多くの表彰や取り組み発表がありましたので紹介いたします。10月18日(金)、六条幼稚園が「全国幼児教育ESD（持続可能な開発のための教育）フォーラム2019（静岡大学）」で事例発表しました。11月7日（木）、総合学習奈良県大会を東市小学校で開催し、菜の花プロジェクトの発表をしました。そして2月には奈良教育大にて開催される世界遺産学習全国サミットで六条幼稚園、鼓阪小学校がパネルセッションを行いました。これからも環境教育を中心とした菜の花プロジェクトをより充実していき、啓発活動を実施していきたいです。

なお今年の菜の花まつりは、4月19日（日）午前10時から12時半で実施します。



市内の学校・園で広がる菜の花栽培



菜の花まつり（2019年度）

## 桜井フィールド（活動団体：さくらい菜の花プロジェクト）

菜種油の奉納と環境学習を行いました

ESD学習の一環として、桜井市内の保育所と菜の花栽培を通しての交流は7年目になります。2年前からは桜井市立東中学校も参加し、環境学習と地元寺社への灯明油の奉納は、年中行事となっています。



大神神社での菜種油を奉納する保育所の子ども達



長谷寺への奉納

## ～橘だより～（なら橘プロジェクト推進協議会）

12月8日（日曜日）大和郡山市三の丸会館にて70名に参加いただき「大和橘収穫祭」を開催しました。

奈良県産業振興総合センターの久保友佳子さんの「大和橘を科学する」と題した講演の後、岳令会会長の松田玲扇さんの万葉集吟詠と続きました。参加者は開場後方などに設けられた展示コーナーで大和橘を使ってつくられたものや、歴史の解説などに見入っていました。その後、奈良市尼ヶ辻に場所



垂仁天皇陵近くで橘の実を収穫

を移し実際に大和橘の収穫体験いただきました。約1700年前、田道間守（たじまもり）が常世の国から「非持香果（ときじくのかぐのこのみ）」として持ち帰ったものが橘であると古事記・日本書紀に記載されていることにゆかりの深い垂仁天皇陵を輝かせるような美しい夕日映えの中、近鉄線の線路の東側にある大和橘のフィールドで参加者は迎春準備の一品ともなる実の収穫に声を弾ませていました。そのあと、尼ヶ辻駅降りてすぐの場所にある垂仁天皇陵近くのフィールドで、たわわに実った橘の実の見学と収穫体験も行われました。



橘で作られた品々



主催者から大和橘の説明

（なら橘プロジェクト推進協議会 城建治）



# 令和2年度総会・交流会のお知らせ



日時：令和2年4月16日（木）午後

場所：奈良県文化会館 多目的室 ※詳細は追って連絡いたします。



総会(昨年度)の様子



交流会(昨年度)の様子

募集中！！



## エコな～らライフ宣言

- ・CO<sub>2</sub>ダイエットに取り組んでいただける方からの宣言を募集中です！
- ・是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

- 1 チラシに記入してFAXで送信（0742-22-1668）
- 2 環境情報サイトエコならの宣言webサイトから宣言  
(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)



右記QRコードからもアクセス可能です！



### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。



編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 奈良県環境政策課内

TEL：0742-27-8663 FAX：0742-22-1668